

# J-クレジット制度 排出削減プロジェクト・ 森林管理プロジェクト 妥当性確認報告書

---

プロジェクトの名称：

長野県県有林J-クレジット創出プロジェクト

妥当性確認 機関名	一般社団法人 日本能率協会 地球温暖化対策センター
--------------	---------------------------

発行日 2016年2月18日

## 1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	一般社団法人 日本能率協会 地球温暖化対策センター
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	一般社団法人日本能率協会地球温暖化対策センターの規程に基づき、検証機関とプロジェクト実施事業者及び審査員とプロジェクト実施事業者との利害相反分析を行い、利害関係のないことを確認した。

## 2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	長野県知事 阿部 守一
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	—
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし



	<p>保証水準  ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること</p>	<p>合理的保証</p>
<p>妥当性確認手続  ※現地審査の実施有無について記載すること  ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p>□現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問）  ■サンプリングで現地審査を実施した  第1回審査：2015年10月29日に訪問  第2回審査：2016年2月2日に訪問  □現地審査を実施していない</p> <hr/> <p>現地審査は計2回実施した。  &lt;第1回審査&gt;  2015年10月22日に文書審査を行い、リスク評価を行った。  2015年10月29日に現地審査を実施した。  &lt;第2回審査&gt;  ※第1回審査の指摘を受け、主伐地を含めたプロジェクト計画見直しに伴う再審査を実施した。  2016年1月27日に文書審査を行い、リスク評価を行った。  2016年2月2日に現地審査を実施した。</p> <p>現地審査では検証機関のチェックシートに基づき現地視察、根拠資料の確認、並びに関係者へのインタビューを行った。  サンプリングによる現地視察の対象はリスク評価に基づき、下記のモニタリングプロットの周辺林分を確認した。  &lt;第1回審査&gt;  小海県有林 プロット NO.6,9,11  &lt;第2回審査&gt;  小海県有林 プロット NO.14,16  切原県有林（主伐地） プロット NO.2</p>
<p>修正・指摘事項及び解決方法  ※4における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること</p>		<p>妥当性確認審査にて発見された吸収量に影響を与える主な修正・指摘事項は、下記のとおりである。</p> <p>&lt;第1回審査&gt;  ・プロジェクト計画地において主伐が行われる予定の林小班がプロジェクト実施地に設定されていなかった。よって、主伐をプロジェクト実施地に取込み、排出量を見込むよう指摘した。  ・森林経営計画からの面積、林齢等の転記ミスを指摘した。  &lt;第2回審査&gt;  ・森林経営計画からの面積、林齢等の転記ミスを指摘した。</p> <p>なお、プロジェクト関係者からの追加資料の提出・記載の修正等の対応により、当該事項の全てが解決されたことを確認した。</p>

妥当性確認 結果	確認結果	<input checked="" type="checkbox"/> 無限定適正 <input type="checkbox"/> 不適正 <input type="checkbox"/> 意見不表明
	意見・結論 ※4 における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること	当会は、長野県が作成したプロジェクト計画書（プロジェクト名：長野県県有林J-クレジット創出プロジェクト）に記載された、温室効果ガス吸収量情報は、J-クレジット制度における実施要綱、実施規程、モニタリング・算定規程、方法論に基づいて作成されていることを確認し、全ての重要な点に関して、適正であると認める。